

鹿児島バドミントン特別大会2020

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

※「1」は公益財団法人日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドラインより引用

1. 大会会場内に関する確認事項

- 1) 会場内の各出入り口
 - 競技に支障がない範囲で換気のため常に開放しておく
- 2) 更衣室
 - 更衣室の使用は更衣のみとする
- 3) 靴箱の利用
 - 靴箱は利用せず、各自のシューズ袋に入れて保管する
- 4) 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類等
 - 競技時は遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う
 - 窓や扉が開放できない場合は、換気のタイミングや換気時間等を決めて開放する
 - コートサイドには、選手が使用するカゴは設置しないので各自用意したバッグ等の中に収容する
 - 練習終了後はコートのもップがけを行う（公式練習時）
 - 主審台、線審と得点板系の椅子は設置しない（コーチングシート2席は設けます）
ただし、正式ゲームの試合より準備をするが、ベンチは設けません。

2. 参加者が遵守すべき事項について

- 関係者すべてのマスクの着用を義務づける。ただし、練習・試合の時はそれを義務づけない
- 応援は声をそろえての声援を禁止とし、拍手にとどめる
- 試合前後の選手同士の握手は行わない
- 応援は1カ所に集まって行わず、可能な限り指定された場所から行うようにする
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 各チームの代表者は毎朝、「健康チェック表（大会参加者用）」を受付に提出すること
- 大会終了後2週間以内に感染症を発症した場合は、保健所や主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること（各団体代表⇒保健所および鹿児島県バドミントン協会、その他関係箇所）

☆☆以下の事項に該当する場合は、参加を認めない☆☆

- 平熱を越える発熱（おおむね37度5分以上）がある
- 咳やのどの痛み、風邪の症状、だるさ、息苦しさがある
- 嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすい等の症状がある
- 身近な知人（職場・学校等含む）に感染が疑われる方がいる
- 同居している者が過去2週間以内に、医療機関を受診して新型コロナウイルス感染症の罹患が疑われ、かつ、その疑いが否定されないまま症状が続いている
- 過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国・地域の在住者との濃厚接触がある
- 県外への往来が、過去2週間以内にある